

報道関係者各位

平成 27 年 10 月 13 日

平成 27 年度第 2 回都市づくりフォーラムのお知らせ 「過去の災害から学ぶ将来への備え」 ～参加費無料、先着 200 名様～

公益財団法人東京都都市づくり公社（理事長：中村正彦、本社：東京都八王子市）では、近年話題となっている地理的リスク「地政学」と「防災」をテーマとして、以下のとおり平成 27 年度第 2 回都市づくりフォーラムを開催します。

名 称：平成 27 年度第 2 回都市づくりフォーラム
日 時：平成 27 年 10 月 28 日（水）13 時 30 分～16 時 30 分（開場 12 時 45 分）

講演内容：①古地図から読み解く東京の地震災害

（公益財団法人 深田地質研究所 客員研究員 都司 嘉宣 氏）
過去に起きた東京の地震（江戸安政地震、関東大震災）の経験から
今後の予測、被害の見方、またそれに備えた心構えについて解説します。

②その時、死なないための備え「備災！三題^{はなし}斬」

（防災・危機管理ジャーナリスト 渡辺 実 氏）
大地震が起きた際、都民はどのように行動すべきなのか、また自治体、
企業、個人等は事前にどのような対策を講じるべきか解説します。

会 場：たましん RISURU ホール（立川市民会館） J R 立川駅徒歩約 13 分
対 象 者：どなたでも参加できます。（先着 200 名様）
参 加 費：無 料

【今後の予定】

都市づくりに関する今日的なテーマを主題とした、「都市づくりフォーラム」を今年度 4 回開催予定です。

■公益財団法人東京都都市づくり公社について■

東京都の監理団体。昭和 36 年 7 月、東京都と多摩地域の 6 市町（当時）の出えんにより財団法人東京都新都市建設公社として設立。平成 25 年 4 月の公益財団法人移行に伴い、現在の名称に変更。行政代行型法人として、多摩地域を中心に都内の都市基盤整備を中心としたまちづくりを担うだけでなく、住民が行うまちづくり活動の支援や、研修会・見学会を定期的で開催しています。

■お問い合わせ■

<都市づくりフォーラム事務局>

公益財団法人東京都都市づくり公社 事業推進部公益事業課 生子・曾我 TEL：042-686-1910
〒192-0904 東京都八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイトワー八王子
URL：http://www.toshizukuri.or.jp/

過去の災害から学ぶ 将来への備え

近年話題となっている地理的リスク「地政学」と「防災」をテーマとした講演会です。

参加費
無料

日時

平成**27**年**10**月**28**日(水)
13:30~16:30 (12:45開場)

会場

たましんRISURUホール

(立川市市民会館) 東京都立川市錦町3-3-20

- ・JR中央線立川駅南口下車 徒歩約13分
- ・多摩都市モノレール立川南口駅下車 徒歩約12分
- ・JR南武線西国立駅下車 徒歩約7分

会場案内



たましんRISURUホール
(立川市市民会館)

プログラム

第1部

古地図から読み解く
東京の地震災害

公益財団法人 深田地質研究所 客員研究員 ^{つじ}都司 ^{よしのぶ}嘉宣氏

第2部

その時、死なないための備え
「備災!三題噺」
はなし

防災・危機管理ジャーナリスト ^{わたなべ}渡辺 ^{みのる}実氏



今年は、阪神・淡路大震災から20年という節目となります。また、東京においても、首都直下型地震の発生が危惧され、大震災の記憶を風化させないことが大切です。

申込
方法

- ・申込受付：平成27年10月26日(月)まで(募集定員200名になり次第締切らせていただきます。)
- ・申込先：住所、氏名、参加人数、及び電話番号を記入のうえ、下記の宛先に電子メール又はFAXにて、お申込みください。(個人の方以外は、会社名等の所属についてもご記入願います。)
- ・事務局：(公財)東京都都市づくり公社 事業推進部 公益事業課

TEL : 042-686-1910 FAX : 042-686-1909 E-mail : koueki@toshizukuri.or.jp



主催：公益財団法人 東京都都市づくり公社

後援：立川市

当日のプログラム

第1部

13:35~14:55 (質疑応答含む)

テーマ

古地図から読み解く東京の地震災害

内容

国内外の地震被害の現場調査、徹底した現場主義、地震学者として唯一と
いっていい古文献の解読、有史以来の地震史・津波史に関する研究を通して、
過去に起きた東京の地震（江戸安政地震、関東大震災など）の経験から今後の
地震予測・被害の見方、また、それに備えた都民の心構えについて解説してい
たいただきます。また、今回のフォーラムでは、多摩地域についても解説をいた
だく予定です。

講師

公益財団法人 深田地質研究所 客員研究員 **都司 嘉宣氏**

■講師プロフィール

1970年（昭和45年） 東京大学工学部土木工学科卒業
1972年（昭和47年） 東京大学大学院理学系研究科修士課程修了
1986年（昭和57年） 東京大学地震研究助教授
2011年（平成23年） 東京大学地震研究所地震災害科学部門准教授
2012年（平成24年） 東京大学を定年退官

・現在は、公益財団法人 深田地質研究所客員研究員、独立研究法人 建築研究所特別客員研究員、
高知県四万十市 地震・津波アドバイザーなど務める。
・著書多数

第2部

15:10~ 16:30 (質疑応答含む)

テーマ

その時、死なな^{はなし}いたための備え 「備災!三題噺」

内容

これまでの様々な災害現場で収集した情報をもとに、必ず来るといわれる首都
直下地震をはじめとする各種災害から生命・財産・生活を守るための有効な手段。

大地震が起きた際、都民はどのように行動すべきなのか、また、自治体、企業、個
人等は、地震に備え、事前にどの様な対策を講じるべきか、防災・危機管理ジャー
ナリストの視点から具体的に解説していただきます。

講師

防災・危機管理ジャーナリスト **渡辺 実氏**
株式会社まちづくり計画研究所代表取締役所長/技術士/防災士

■講師プロフィール

1974年（昭和49年） 工学院大学工学部建築学科卒業
1974年（昭和49年） 昴都市設計 研究員
1975年（昭和50年） 社団法人 日本都市計画学会
1978年（昭和53年） 株式会社 地域設計研究所 主任研究員
1979年（昭和54年） 株式会社 社会工学総合研究所 主任研究員
1985年（昭和59年） 財団法人 都市経済研究所 主幹を経て理事
1988年（昭和62年） 財団法人 都市防災研究所 企画財務部長
1990年（平成元年） 株式会社まちづくり計画研究所設立 代表取締役就任

・防災・危機管理の仕事に携わって40年、日本の自然災害地や大事故現場に足を運び、報道活動
をはじめ復興や啓蒙活動に力を注ぐ。
・東日本大震災以後は、定期的に被災地を訪れ、取材とともに被災自治体の支援を続けている。
・著書多数